

学芸員のひと休み

学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

せんだい3.11メモリアル交流館

交流係 田澤絃子さん



交流館が建つ仙台東部沿岸地域の良いところは、四季がはっきりと感じられるところです。事務室の窓から見える田んぼの風景も季節ごとにさまざま、何やら面白いことをしている人を見かけると、思わず事務室を飛び出して話しかけてしまいます(笑)。春が近づくと、足元の雑草が色づきはじめます。じっくりと観察している方がいたので話しかけたところ、「足が悪くなった母の代わりに」と、草餅を作るためのヨモギを見極めながらあぜ道を散策していたのです。暖かくなってくると、田んぼの側を流れる堀は学校帰りの子どもたちの遊び場になり、ランドセルが道路に投げ出されている光景をよく見かけます。92歳のOさんは、自転車に乗って1時間かけてドジョウを取りにやってきます。「どうしてわざわざ?」と尋ねると、「戦地で食べたドジョウ汁が忘れられなくて」とのこと。「買うよりも、自分で捕まえたほうが楽しい」と、手作りの道具で奮闘していました。こうした、この地域の風土とともにある営みとの窓越しの出会いが、交流館に勤める私の楽しみです。



さまざまな動物も遊びに来ます!



大人にとっても遊び場です!

これからのイベント 9月4日(火)～1月14日(月・祝) せんだい3.11メモリアル交流館を囲む風土展#3「竹であそぶ」



SMMAとは
知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局
SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験していただけるウェブサイトです。
www.smma.jp

発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)
電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: <https://www.smma.jp>
編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2018年7月20日 掲載した記事・情報は発行日の段階のもので、この紙はリサイクルできます

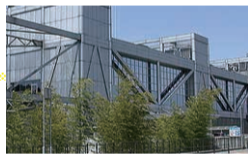
2018夏号 見験楽学



ミュージアム de ブレイクタイム

SPOT スリーエム仙台市科学館

夏休みの自由研究の参考になる展示やイベントをさまざま開催。今夏開催の特別展「恐竜最前線」では日本の恐竜の実態とその最新研究を紹介するほか、ティラノサウルスやコリトサウルスなどの生態復元モデルや標本などの展示、スマートフォンを使ったクイズラリーやVR体験も。



☎ 仙台市青葉区台原森林公園4-1 022-276-2201
🕒 9:00～16:45(入館は16:00まで)
🗓 月曜(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(日曜を除く)
🎫 一般540円、高校生320円、小・中学生210円

レストラン ウイング

科学館4階にあるカフェレストラン。ラーメンやそば、うどんなどの麺類やカレー、ホットケーキなどの軽食をリーズナブルな価格で提供。食事だけではなく、ドリンクやソフトクリームもあるので見学中のひと休みにもぴったりです。

🕒 10:00～15:30(土・日曜、祝日、学校長期休業期間は～16:30)
※ラストオーダーは30分前。食事メニューは11:00～14:30の販売



▲ソフトクリーム 300円



▲醤油ラーメン 550円



▲スペースアイスクリーム いちごアイス 648円、スペースフード チキンライス 540円



▲化石 アンモナイト1620円、サメの歯1080円、三葉虫1296円



▲二宮康明 ホワイトウィングス 540円

売店

3階エントランス脇にあるミュージアムショップ。化石や鉱物標本や恐竜模型、宇宙食など館内展示にまつわるさまざまなグッズを販売しています。ずんだ餅やたこ焼き、パンなどさまざまなメニューが揃う宇宙食や、常設展で紹介している仙台出身の紙飛行機設計の世界的権威・二宮康明氏のペーパーグライダーは子供たちに人気のアイテム。ユニークな実験キットも数多く揃っています。

🕒 10:00～15:30(土・日曜、祝日、学校長期休業期間は～16:30)



たまむし さだゆう 玉蟲 左太夫 (1823～1869)

仙台藩士・玉蟲伸茂の7男として、北五番丁で誕生。13歳で養子となるが、学問を志して24歳の時に江戸へ。幕府の儒学者である林復齋の私塾へ入った後、仙台藩江戸藩邸の学問所・順造館の講師に迎えられた。戊辰戦争では東北諸藩をまわり、奥羽越列藩同盟の成立に尽力。仙台藩の降伏後捕えられ、牢前で切腹を命じられる。



玉蟲左太夫画像 仙台市博物館蔵

SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

独自の観察眼が光る 仙台藩のジャーナリスト

今年には戊辰戦争から150年を迎える節目の年。戊辰戦争中に仙台藩の窓口として他藩と交流し、列藩同盟の議事をとりまとめた中心人物が玉蟲左太夫です。玉蟲を語るうえで注目したいのが、そのジャーナリズム精神。安政4(1857)年に幕府の箱館奉行・堀利熙に記録係として随行し蝦夷地を巡視した記録『入北記』では行程や蝦夷地の地理、文化・民俗から自らの体験に至るまでを克明に記録しています。時には現地役人により蔑まれていたアイヌ民族の支配実態などを記して批判することも。先入観ではなく、自分の価値観で著した記録が評価され、万延元(1860)年の渡米へとつながりました。



奥羽越列藩同盟旗 宮坂考古館蔵

世界を見つめた藩士

日米修好通商条約の批准のため幕府使節団に随従して渡米し世界一周した際は、持ち前の行動力で工業や政治などに見聞を広め、文化施設なども可能な限り見学して『航米日録』を執筆。自然や船中でビールを飲んだエピソードまでも記した記録は、数ある遣米使節記の中でも高く評価されています。世界を見たことで、国内の分裂をさけて国力を高めるべきという想いをもった玉蟲でしたが、戊辰戦争の渦中へと身を投じることとなり、藩の降伏後は牢獄へ。しかしながら、牢中においても探求心を捨てず、密かに家族と手紙を交わして世間の情報を集め続け、その生きざまを最期まで貫きました。仙台市博物館では10月26日(金)から12月9日(日)まで特別展「戊辰戦争150年」を開催。奥羽越列藩同盟を中心に、東北地方の戊辰戦争の関係資料が一堂に会する貴重な機会です。玉蟲が駆け抜けた幕末の仙台の歴史を見つめてみてください。



航米日録 仙台市博物館蔵

ここでもっと知る!

仙台市博物館
☎ 仙台市青葉区川内26 022-225-3074
🕒 9:00～16:45(入館は16:15まで)
🗓 月曜(祝日の場合は翌平日)
🎫 常設展/一般460円、高校生230円、小・中学生110円
特別展「戊辰戦争150年」/一般・大学生1,000円、高校生500円、小・中学生400円
※特別展料金にて常設展もご覧いただけます。

東北大学史料館

歴史ある学府を今に伝える



東北大学片平キャンパスの正門をくぐり、真すぐ進むと見えてくる和洋折衷の瀟洒な建物が「東北大学史料館」。大正15(1926)年、当時東北帝国大学技師であり、戦火で失われた瑞鳳殿の再建を手がけたことでも知られる小倉強による設計で、図書館として完成しました。現在は大学の多岐にわたる資料を保存する施設として広く一般に公開。日本初の女子大学生誕生に関する資料や有名な文学者魯迅に関する展示など、興味深い資料から大学の歴史を知ることができます。

CHECK 1 発見!魯迅の成績表

大学の前身である旧仙台医学専門学校に留学生として1年半在学していた魯迅。1学年時(1905年)の試験の成績表が残されています。解剖学だけが丁(落第点)。生涯恩師と慕い、小説「藤野先生」にも描かれた解剖学教授・藤野厳九郎との関係が生まれたのは、試験の成績がきっかけだったのかもしれない。

仙台市青葉区片平2-1-1 東北大学片平キャンパス内
☎ 022-217-5040 営業 10:00~17:00(12:00~13:00は閲覧室休み)
休 日曜、祝日、大学の夏期休業日 入館無料

どなたでも気軽に、自由にご覧いただける大学の史料館です。片平キャンパス地区は2017年に都市景観大賞「都市空間部門」で特別賞を受賞。史料館はじめ、歴史的建造物が保存・活用されているキャンパスの散策も楽しんでみてください。

准教授 加藤 諭さん



CHECK 2 エリートがもらった銀時計

中央に恩賜と刻まれた銀の懐中時計は、1918年頃まで旧帝国大学で首席などの成績優秀な卒業者に天皇からの贈呈品として授与されていた品。銀時計が送られた人は「銀時計組」と呼ばれ、出世間違いなしの「エリート中のエリート」でした。



CHECK 3 歴史的財産である建物

瓦葺の屋根にロマネスク調のデザインは大正後期に造られた大学施設としては意匠的にも珍しい。キャンパス内に残る旧仙台医学専門学校六号教室(魯迅の階段教室)などとともに登録有形文化財になっています。



ベル型で銅板葺きのシンボリックな塔屋



展示室は柱がなく、天井が高いのが特徴的



Smma
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

今行くべき旬なミュージアム

今年度から仙台・宮城ミュージアムアライアンスに仲間入りした東北大学史料館、東北大学植物園、そして今年度12月をもって、惜しまれつつも休業する福島美術館にクローズアップ。仙台の魅力を再発見できるミュージアムのトピックをご紹介します。

福島美術館

郷土の宝を地元の人に



CHECK 1 仙台を代表する実業家 福島禎蔵翁



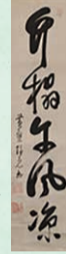
美術館運営母体である社会福祉法人の創設者である福島禎蔵は文化だけでなくとどまらず、産業面でもさまざまな活動を行ってきました。困窮した東北の農民を救済するため地産地消のビール「フジビール」の製造販売や東洋刃物株式会社創設への支援、NHKの誘致などにも、惜しみなく私財を投じて支援。人々の生活と心の豊かさを願ってきた、魅力あふれる人物なのです。

仙台の実業家である福島禎蔵(1890~1979)が寄贈した伊達家旧藏品や美術工芸品など3000点を収蔵し、仙台・宮城の文化を紹介してきた福島美術館(1980年開館)。先代・先々代から受け継ぎ、人と人とのつながりや縁、作家を支援する名目で集められた絵画や書は後世に伝えていきたいものばかりです。残念ながら建物の老朽化による取り壊しが決まり、現在開催中の展覧会でいったん休業となること決定。再開時期・場所は未定となるため、福島家の居宅跡であった現在地でコレクションが見られるのは12月迄。地元の人が遺し、愛してきた品々をお見逃しなく。

仙台市若林区土樋288-2
☎ 022-266-1535 営業 開館期間中の9:00~16:30
休 展示替期間、日曜、月曜 ※臨時休館を設ける場合あり
入 一般400円、大学・専門学校生・70歳以上300円、高校生以下・障がい者の方無料 5台あり

CHECK 2 福島禎蔵が愛したコレクション

これまで年3回、コレクションから60~70点ずつ紹介してきた展覧会。今年度は「休業まで少しでもたくさんものをたくさんの人に見てもらいたい」と全8期のテーマで展示が行われます。福島禎蔵の私財を社会へ還元する懐の深さ、郷土への愛をコレクションから感じてみてください。



第5期 9/4(火)~9/22(土) 「遠忌300年 仙台藩4代藩主 伊達綱村と黄檗宗」

幼くして藩主となった伊達綱村が帰依した黄檗宗。墨蹟(高僧によって書かれた書)などの関連資料を展示。

福元隆瑞筆「書 竹欄午風涼」

第6期 10/2(火)~10/20(土) 「文房四宝~書・墨・硯の魅力」

筆、墨、硯、紙は文房具の4つの宝。書家のさまざまな書風や道具の美をお楽しみください。



▲中林悟竹書「書 横手道中臨書」 ▲伊達綱宗筆「弁財天社丹図」

第7期 10/30(火)~11/17(土) 「みんなが見たい!この作品」

来館者からの投票で選ばれた展示作品を一室で紹介。展示作品は9月8日(土)に発表。

第8期 12/4(火)~12/22(土) 「幸せ願うめでた掛け」



※各展示期間中ギャラリートークや落語、ミニ個展などのイベントも開催。詳細は美術館HPをご参照ください。(仙台 福島美術館)・検索

美術館のコレクションは重文や国宝級ではありませんが、どこか懐かしく、心があたまる地元ゆかりの優品ばかり。衣食住だけでは得られない、心が豊かになる文化を遺そうとした人がいたことを、たくさんの人に知っていただきたいと思います。

学芸員 尾暮まゆみさん



東北大学植物園

これぞ杜の都・都会のオアシス



52万㎡の広大な面積を誇る植物園は、仙台城築城以来、城の水源地であり防衛上でも重要な場所で、御裏林(おうらばやし)として大切に保護されてきた青葉山にあります。モミ林をはじめ、貴重な動植物が数多く生息しているため、その敷地のほとんどは国指定の天然記念物。園内の植生などを紹介する展示ホールがある本館を抜け、散策路に進むと、ここが仙台の街中のすぐそばだということが信じられない風景が広がっています。季節の草花を愛で、人の手が加わっていない自然林に抱かれれば日ごろの疲れもリフレッシュ。若干勾配があるルートもあるので、動きやすい服装で、気軽な自然散策を楽しんでみてください。

仙台市青葉区川内12-2
☎ 022-795-6760 営業 9:00~17:00(入場は16:00まで)
休 日曜(祝日の場合は翌平日) ※12月1日~春分の日前までは冬期休業
入 大人230円、小人(小・中学生)110円、幼児無料

CHECK 2 史跡にも注目



1287年に建てられた「蒙古の碑」は陸奥の国司のために建てられた供養塔。隣にある「正安の碑」とともに、子どもの百日咳を治す霊験があるとされています。すぐ近くには5代藩主伊達吉村が建てた茶室「残月亭」の跡も。

CHECK 3 冬虫夏草を探せ!



漢方としても知られる冬虫夏草は昆虫に寄生したキノコ。展示ホールではさまざまな種類の冬虫夏草コレクションを見ることができます。夏には左図園内MAP①と②の間にある石段から出てくることもあるので探してみよう。

仙台の街のすぐ隣にある大自然は伊達政宗が遺してくれた大切な遺産です。豊かな自然を楽しみながら、街の喧騒を離れて、のんびりと散策をしてみたいいかがでしょうか?

助教 大山幹成さん



CHECK 1 樹齢300年を超える杉

伊達政宗が死去し、二の丸造営が開始された頃に植えられたと考えられる、仙台城二の丸杉並木。27本の杉が現存。本館エントランスホールでは樹齢を調査した切り株を展示しています。



絶滅が危惧される植物が見られます。湿地の奥にはヨシの群生も

東北大学植物園 MAP

